

## アトピー性皮膚炎患者に対する 教育入院クリニカルパス運用の課題と改善への取り組み

愛媛大学附属病院  
白石志乃 河野仁美

## 第21回愛媛クリニカルパス研究会 COI開示

愛媛大学附属病院 白石 志乃

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません。

### はじめに

- ・ A病院は令和3年10月、愛媛県アレルギー疾患拠点病院に指定
- ・ アトピー性皮膚炎（AD）専門外来にて重症例には  
多職種連携による9日間の教育入院を実施
- ・ ADの治療には「疾患理解」「セルフケアの習得」が不可欠



### クリニカルパス導入の経緯と目的

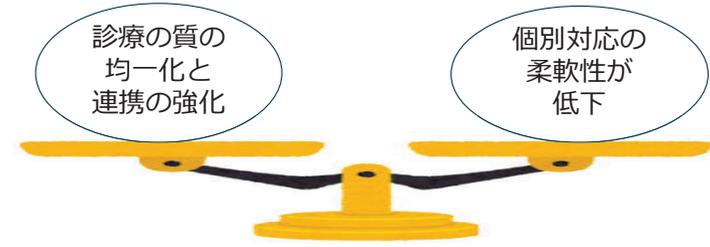
- ・ パス導入：令和6年～
- ・ 目的：診療・指導の標準化とチーム医療の質向上
- ・ 内容：6項目の指導（1日で全項目）  
+ 1日2回の外用指導（看護師）



## 導入後に見られた課題



## 現状の課題



→ 一律の指導スケジュールでは限界がある

## 改善① 指導内容の再構築

以前

経過(病日等)	入院	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	退院日	
患者及びご家族への説明	「アトピー性皮膚炎なんでもQ&A」のパンフレットをお渡します	スキンケア・外用方法のDVDを鑑賞して頂きます 「アトピー性皮膚炎なんでもQ&A」に沿って説明します 悪化因子を確認し退院後の対策を一緒に考えます	看護師が泡の作成方法、体の洗い方について説明を行い実際に一緒にを行います								

現在

経過(病日等)	入院	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	退院日
患者及びご家族への説明	スキンケア・外用方法のDVDを鑑賞して頂きます 「アトピー性皮膚炎なんでもQ&A」のパンフレットをお渡します	アトピー性皮膚炎なんでもQ&A：第1章：疾患について説明します	アトピー性皮膚炎なんでもQ&A：第2章：診断・検査について説明します	アトピー性皮膚炎なんでもQ&A：第3章：治療について説明します	アトピー性皮膚炎なんでもQ&A：第4章：スキンケアについて説明します	アトピー性皮膚炎なんでもQ&A：第5章：環境、日常生活について説明します	アトピー性皮膚炎なんでもQ&A：第6章：心理的ストレスについて説明します			①POEM ②DLQI ③ADCTを記入して頂きます

## 改善策② 具体的な目標設定

以前：抽象的なゴール設定

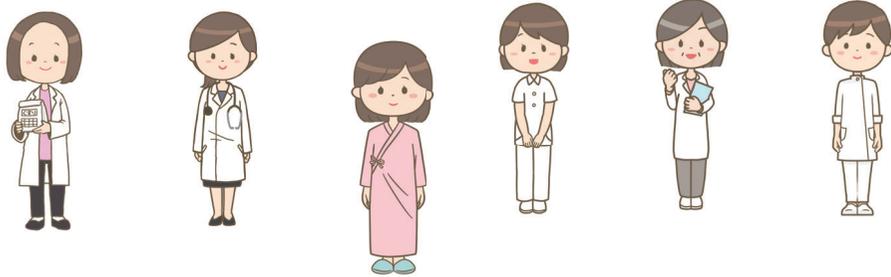
経過(病日等)	入院	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	退院日
達成目標	治療が理解できる									
	皮膚の悪化がない									

現在：具体的な行動目標

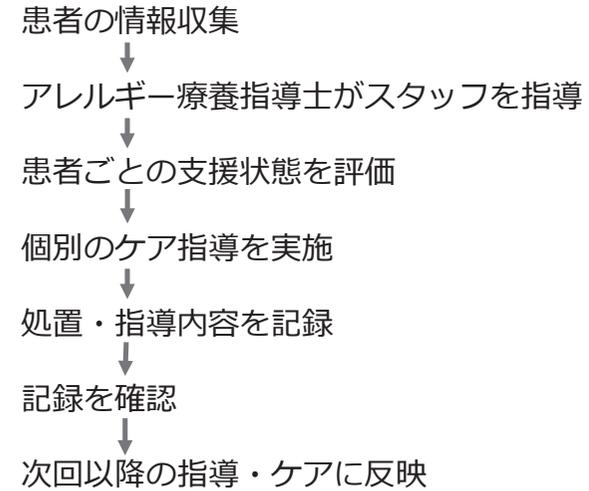
経過(病日等)	入院	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	退院日
達成目標	□治療の目標について理解できる	□角が立つ泡を洗面器にいっぱい作成できる □必要な外用量が理解できる	□隠れ炎症について理解できる	□ステロイドのランクが理解できる。 □ステロイドの副作用が理解できる	□アトピー性皮膚炎の治療に必要な3項目が理解できる □悪化因子とその対処法が理解できる □悪化時の対処法が理解できる	□避けることが望ましい食材が理解できる □保湿剤の必要性を理解できる	□正常の皮膚とアトピー性皮膚炎の皮膚との違いが理解できる □プロアクティブ療法について理解できる	□スキンケアの手順を説明できる □背部の外用ができる □退院後の注意点が言える		

### 改善策③ 多職種による教育の再構築

- ・ 医師・看護師・薬剤師・栄養士・公認心理士が連携
- ・ 専門性に基づいた分担で、無理のない情報提供
- ・ チームで患者支援を強化



### 改善策④ 個別性への対応



### 今後の展望

パスの見直し  
フィード  
バック体制

柔軟な運用  
の整備

標準化と  
個別対応の  
バランスの  
課題



### おわりに

- ・ AD治療の鍵は「疾患の理解」と「継続的セルフケア」
- ・ 教育入院はその基盤づくりの場
- ・ 今後も、標準化の中に個性を生かす体制を目指す



ご清聴ありがとうございました

